

令和7年度 指定管理者モニタリング結果及び評価表

1 施設の概要

施 設 の 名 称	るもい健康の駅		所管課係名	コホートピア推進室
所 在 地	留萌市花園町 3 丁目 1 番 1 号		設置年月日	H21. 7. 11
施 設 設 置 目 的	市民が主体的に実施する健康づくり活動を支援し、健康に対する意識向上とともに、健康増進に向けた予防医学の実践拠点として設置する。			
施 設 概 要 ・ 設 備	1 階：事務室、健康体験室、ホール、より道の部屋、健康相談室、健康サロン 2 階：事務室、軽運動室、会議室、更衣室			
指定管理者名（選定方式）	特定非営利活動法人 るもいコホートピア			
選 定 方 式	公募・ 非公募 （理由：施設の性格、規模及び機能により公募することが適さないため）			
指 定 期 間	令和 6 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日			
指定管理者の主な業務				
利 用 料 金 の 導 入	な し			
施 設 の 利 用 実 績	利用区分等	利用目標（人）	利用実績（人）	対前年（％）
	延利用者人数	—	8,319	104.4
		（特記事項）コロナ禍前の水準に戻せる様に指定管理者と方向性を共有しているが、急激に利用者を拡大するのではなく、感染症等の状況を見ながら利用者制限を実施し、少しずつ増加させて行くこととしている。		
指定管理料 （過去 3 年間）	令和 5 年度	24,700,140円		
	令和 6 年度	25,377,580円		
	令和 7 年度	25,390,780円		
（その他特記事項） 令和 6 年度に指定管理者との契約を 3 年の期間として更新した。 基本協定書第37条第3項及び年度協定書第4条に基づき、灯油単価の5%を超える単価の変動に関して補填の処理を行った。 【追加精算額】 令和5年度：206,140円 ・ 令和6年度：30,580円 ・ 令和7年度：43,780円				

2 市（所管課）による評価

指定管理者の事業計画書（提案書）の内容に基づき、その水準が達成されているかを市が点検・評価するものです。

評価の方法は、年度終了時に指定管理者から提出される事業報告書や市の立入点検等の結果を参考に記載してください。

大項目	中項目	評価項目	評価					評価に対する説明	
			優秀	良好	普通	不十分	不良		
管理能力	団体の概要	団体の経営状況は良好か	○					活動計算書からも優秀である。	
		当該施設管理運営をサポートする体制はあるか	○					市内医療関係者や地域の市民ボランティアがサポートする体制が整っている。	
	適切な管理運営	市の方針、施設の設置目的、業務等を理解した管理はされているか	○					十分に理解し市民の健康づくり活動に寄与している。	
		市が示す施設運営方針や管理の基準等に適合しているか	○					十分に理解し取り組んでいる。	
		公共の仕事という倫理性や法令遵守について認識し対応しているか	○					十分に認識し適正に行われている。	
		市や関係団体等と連携し、責任を持って事業に取り組んでいるか	○					十分に連携し取り組まれている。	
	市民の平等利用	正当な理由なく一部の市民に利用制限や優遇が行われていないか	○					公共性を十分認識し適正に行われている。	
		事業内容に偏りがあり、利用者が限られることはないか	○					若い世代の女性の利用促進も活発化し高齢者中心の利用実態から一歩進んでいる。	
	適切な組織・体制	職員体制や配置人員は適切であるか	○					市からの指定通りの職員配置がなされている。	
		現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切か	○					事務局長が現場責任者を、看護職員が医学的職責をしっかりと果たしている。	
	職員研修・人材育成	労働関係法令等を遵守した規程を整備し、従事者の適正な労働条件を確保しているか	○					法律に定める範疇であり、有給休暇や振替なども、しっかりと取得されている。	
		職員研修計画や業務指導に関し、適切に実施されているか	○					スタッフもしっかりと育成されて来ており、継続的に研鑽に努めている。	
	経理及び事務処理	会計処理の基準等に基づき適正に事務処理となっているか	○					会計処理の基準に基づく経理業務を事務局長が進め、会計事務所と共同に行っている。	
		経理帳簿や台帳等を整備し、情報公開や監査請求に対処できるか	○					会計事務所指導による経理帳簿台帳等を整備し、情報公開や監査請求にも対応する。	
		必要に応じパソコン等ＩＴ機器を活用できるか	○					しっかりと業務に導入されており、事務の効率化が図られている。	
		施設や附属設備の保守点検作業は、必要な基準や仕様を満たしているか	○					仕様書通り実施されている。	
	安全管理	業務報告や事業報告が適切に作成されているか	○					報告内容を整理し適切に提出されている。	
		安全対策は明確で、職員の教育・訓練の実施はされているか	○					総合避難訓練・一次救命措置訓練などをはじめ適切に実施されている。	
		施錠、警備体制等は適切であるか	○					民間警備会社に警備を委託し、夜間や休館などの不在時には機械警備が行われている。	
	緊急時対応	利用者の安全確保に関する研修を実施し、職員が内容を熟知しているか	○					継続的に研鑽に努めている。	
		事故や災害時等緊急時の連絡体制が十分に整備されているか	○					連絡網により連携体制も万全である。	
	個人情報保護	避難経路が確保や避難時に支障をきたす障害物はないか	○					高齢者を中心に利用される施設であり、日常的に歩行に障害となる障害物はない。	
		個人情報の管理方法においてセキュリティ対策を講じているか	○					セキュリティ及び各種研究に対する倫理委員会を設けており対策は万全である。	
	秘密の保護	職員が業務上知り得た秘密について漏洩防止対策を講じているか	○					市に準じ厳しく職務を課しており、職員の退職後も同様となっている。	
施設の運営	業務内容	業務について処理・対応が適切に行われているか	○					市民の立場を考慮し適切に業務がなされている。	
		管理区域、業務範囲について漏れなく的確に把握されているか	○					的確に施設管理や業務が行われている。	
		事業の内容や施設の有効利用に創意工夫がされているか	○					利用者の目線に沿って、常にカイゼンが行われている。	
		年間の事業量が適切に実行されているか	○					年間事業は計画的に適切に実行されており、年間事業量も適切と言える。	
	業務の第三者委託	業務の第三者委託の範囲、理由、委託先は適当であるか	○					市への協議・承認に基づき、非常に効率的に第三者委託が行われている。	
		再委託先から適切に業務報告をさせるなど再委託の管理が適切か	○					必要な報告をはじめ、漏れることなく管理がなされている。	
	経費節減・業務効率化	経費節減や業務効率化が継続的に行われているか	○					常に議論が行われしっかりと効率化が進められている。	
	備品等の維持管理	引き渡した備品等に過不足はないか	○					備品台帳等によりしっかりと管理が行われている。	
		引き渡した備品等はその機能が失われていないか	○					老朽化に伴い廃止備品も発生するが、都度協議を実施し、更新・廃止を進めている。	
	利用の促進	施設の利用促進に努めているか	○					コロナ禍時の制限を残しつつ感染予防に努めながら、利用者数を徐々に増やしている。	
	利用者サービス	利用者サービスの向上に努めているか	○					利用者への適切な声かけや案内看板をはじめ、来館・利用しやすい環境を意識する。	
	障害者等への配慮	障害者、子ども、高齢者等に配慮した管理がされているか	○					玄関への椅子の配置や導線への手すりの配置など高齢者に配慮している。	
	苦情等への対応	利用者の苦情や要望、意見等に適切に対応しているか	○					速やかに対応すると共に、市への報告も早急になされている。	
	セルフモニタリング	セルフモニタリングが適切に行われているか	○					アンケートにより利用者の声を定期的にモニタリングし改善されている。	
	環境への配慮	省エネ等の環境に配慮と廃棄物処理は適切か	○					適切に実施されている。	
	地域との連携	地域住民等との連携に積極的に取り組んでいるか	○					地域住民や利用者等の協力を得ながら施設管理や環境整備などが行われている。	
	自主事業	サービスの向上かつ収入増に結び付いたか	○					自主事業により、住民の健康支援やコミュニティの向上に大きく寄与するなど、本施設が果たすべき健康サービスを網羅している。	
		収支のバランスはとれているか	○					決算報告からも全く問題はない。	
	特記事項への対応	募集要項における特記事項について考慮されているか						※特記事項はない。	
	事業報告書	事業報告書と事業計画書を比較し収支の過小、過大はないか	○					計画書通り実施されている。	
	総合評価			43	0	0	0	0	

3 利用者による評価

利用者アンケート	実施時期	令和7年12月6日（土）～令和7年12月13日（土）
	調査対象	施設利用者
	調査方法	アンケート用紙による回答
調査結果	・回答件数106件（うち男性34%、女性66%） ・回答者の72%は60代以上であり、中でも70代が全体の32%を占めている。 ・利用頻度は、週1回程度と月1～2回程度が22%と同率、ほぼ毎日および週2～3回程度の割合を合わせると66%となり、7割近くの利用者が定期的に施設を利用していることが伺える。 ・施設の利用目的は、運動機器22%、健康チェック21%と、常設している機器を目的としての利用は全体の43%となった。健康講話の割合も21%と健康情報の発信拠点として市民に貢献できたものと思われる。	
利用者からの意見等	・ るもい健康の駅、小海理事長への感謝の言葉 ・ 健康講話を受講した感想 ・ 交通手段に関する意見	

4 指定管理者による自己評価

今年度の自己評価	・施設利用者にとどまらず市民が気軽に立ち寄れるよう、飲物のセルフコーナーを館内に常設。夏期間は中庭にガーデンパラソルセットを設置し休憩時に利用できる環境を調えた。また、急な天候変化の際【一時的な避難場所】としても利用できる旨、るもい健康の駅便りを通じて市民に周知した。 ・イベント、花壇の維持活動等を通じ幅広い年代の市民ボランティアが活躍できる場を構築した。 ・引き続き基本的な感染症対策を徹底しながら、施設利用者が安全に利用できる場としての役割を果たし広く周知活動の展開を行った。 今年度も講話等を通じ市民への情報発信を進め、るもい健康の駅ならではの取り組みで市民の心と身体健康維持に貢献できたものと思われる。
今後の目標	るもい健康の駅を軸とした市民に健康と安心をもたらすまちづくりにより一層努める。 ・目標①：若年層から高齢者まで幅広い世代への健康づくり啓発の強化 ・目標②：施設利用者へのサービスの向上 ・目標③：幅広い世代の市民ボランティアを活用した交流の場の提供

5 留萌市指定管理者選定委員会による総合評価

施設の設置目的に沿って適切に運営されており、コロナ禍で減少した利用者数も回復傾向にある。また若年層に向けた新たな周知方法を取り入れるなど、予防医学の実践拠点としての役割を果たしている。今後も市民の健康づくりの拠点となることを期待する。	総合評価結果				
	優秀	良好	普通	不十分	不良
	○				